

千葉国体開幕

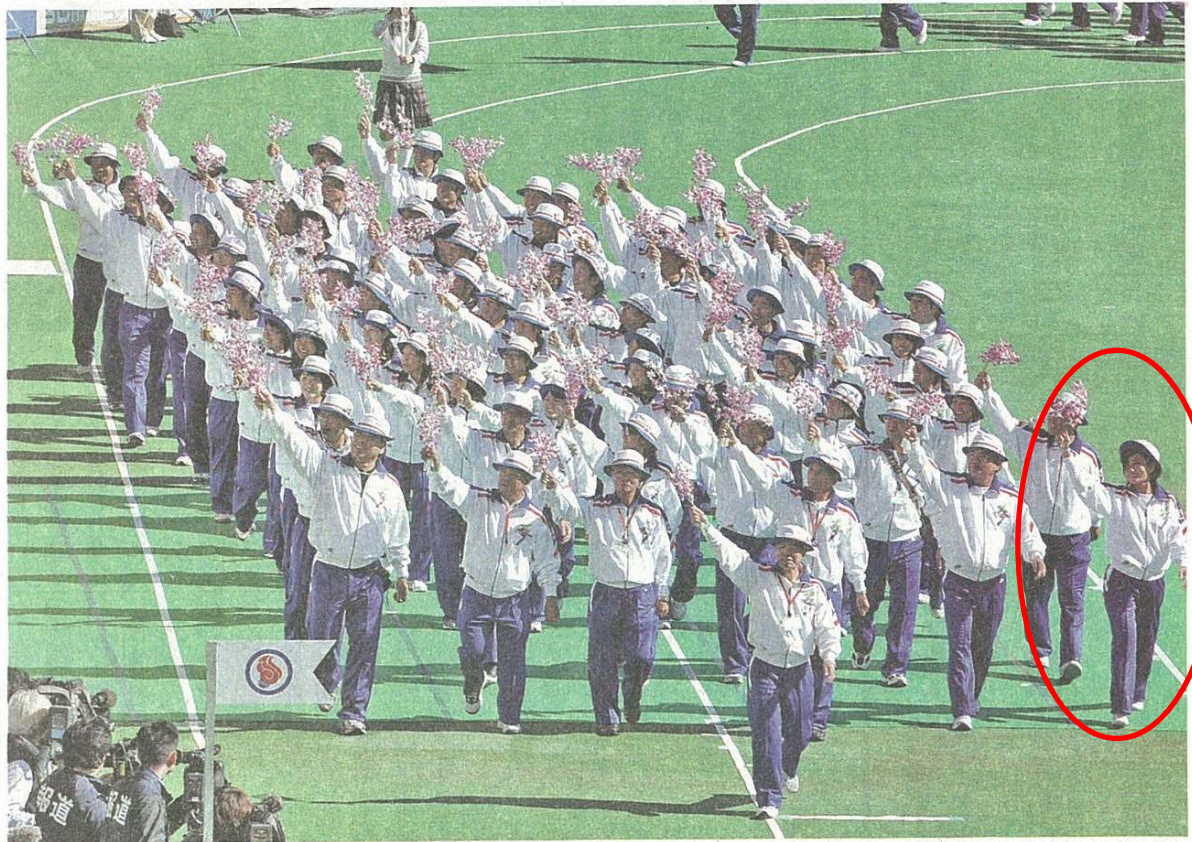
県選手団280人出場



【千葉国体取材班】「今房総の風となり この一瞬に輝きを」をスローガンに、第65回国民体育大会ゆめ半島千葉国体」が25日、開幕した。千葉マリンスタジアムで総合開会式が行われ、10月5日まで11日間の戦いが始まった。

(16面に関連)
ボウリング成年女子の島袋百合子(三和商事)が旗

手を務めた県選手団は、第2日の26日から競技が始まるセーリングなど5競技の選手と役員、監督を含めた約70人が、全国のトップを切って入場行進を行った。大会には全国から約2万2000人が参加し、先行開催の水泳、ゴルフを除く37競技で競い合う。県勢は30競技に約280人の選手・監督が出場し、目標の30位台を目指す。
26日は14競技が行われ、県勢は昨年総合優勝を果たしたなぎなたなど10競技に出場する。



千葉国体開会式で全国のトップを切って入場する県選手団＝25日午後、千葉マリンスタジアム(安里努撮影)